



議会だより

令和2年

5月

1日号

おおたわら市

“題字は前野良三議長”

No.195



本庁舎前

令和2年度 一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計予算を審査

予算審査特別委員会



委員長
君島 孝明



副委員長
滝田 一郎



※予算審査特別委員会全体会の様子

予算の概要

本定例会では一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計の令和2年度予算関係議案が提出され、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

令和2年度の一般会計と各特別会計及び水道・下水道事業会計を合計した歳入歳出総額は560億3210万円、予算総額を前年度と比較すると、32億2750万円、6.1%増となりました。

なお、歳出予算増の主な要因は、大田原中学校増改築事業、広域クリーンセンター大田原ごみ焼却施設基幹的設備改良事業及び共同一般廃棄物最終処分場整備事業の負担金増加等によるものです。また令和2年度予算編成方針として財政運営の大改革と位置付けられ、経費削減、事業中止等、健全な財政運営を最優先課題と捉えた予算編成となりました。(各会計の詳細は以下のとおりです。)

■一般会計、各特別会計別予算、水道・下水道事業会計予算の概要 (単位：千円、%)

区 分	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	前年度からの増減額 (c)	比率 (c)/(b)	
一 般 会 計	33,860,000	31,760,000	2,100,000	6.6	
特 別 会 計	国民健康保険事業	7,928,000	8,190,000	△262,000	△3.2
	下 水 道 事 業	-	2,019,000	△2,019,000	皆減
	農業集落排水事業	-	201,000	△201,000	皆減
	介護保険事業	7,519,000	7,136,000	383,000	5.4
	子育て支援事業	30,500	63,100	△32,600	△51.7
	後期高齢者医療事業	747,900	710,100	37,800	5.3
	須賀川財産区	1,200	1,400	△200	△14.3
小 計	16,226,600	18,320,600	△2,094,000	△11.4	
水 道 事 業 会 計	2,781,500	2,724,000	57,500	2.1	
下 水 道 事 業 会 計	3,164,000	-	3,164,000	皆増	
合 計	56,032,100	52,804,600	3,227,500	6.1	

※水道事業会計及び下水道事業の金額は収益的支出と資本的支出の合計

※「下水道事業特別会計」及び「農業集落排水事業特別会計」は、令和2年度から地方公営企業法の全部を適用し、「下水道事業会計」として公営企業会計となります。

令和2年
第2回

市議会定例会

令和2年度予算案を議決

令和2年第2回市議会定例会（3月定例会）は、3月2日（月）から18日（水）までの17日間を会期として開かれました。

市長から提出された案件は、報告案件1件・人事案件1件・令和2年度予算案件8件、条例案件19件・令和元年度補正予算案件4件及びその他の案件2件、追加で議員提案による案件が2件でありました。

報告及び人事案件は、初日に報告・説明・質疑があり、採決の結果可決し、予算以外の案件は、各常任委員会に付託されました。

令和2年度の一般会計予算は、聖域のない財政運営の大改革を柱として大胆な削減をしつつも、歳出の面では社会保障費の増加や人件費の増加、

公共施設の老朽化、国体や災害の対応など多額の財政需要が見込まれることから、昨年比6・6%増の338億6000万円となり、市長から市政運営の所信が述べられた後に、予算全般に関する説明があり、予算審査特別委員会が設置され、付託された予算案は分科会毎に担当課から詳細な説明を受け、慎重に審査した上で全体会に諮りました。

採決では、「議案第17号の市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、委員会にて否決となり、総務常任委員会より修正議案が提出され、採決の結果、9対11で否決されたため原案を採決した結果、12対8で可決されました。それ以外は、すべて原案通りに可決されました。

議案詳細と各会派の代表質問、一般質問の内容については6ページ以降をご覧ください。

令和2年 第2回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
報告第1号	市長の専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	報告受理
議案第5号	大田原市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意 (全会一致)
議案第6号	令和2年度大田原市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)
議案第7号	令和2年度大田原市国民健康保険事業費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第8号	令和2年度大田原市介護保険特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第9号	令和2年度大田原市子育て支援券特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第10号	令和2年度大田原市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第11号	令和2年度大田原市須賀川財産区特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第12号	令和2年度大田原市水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第13号	令和2年度大田原市下水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第14号	大田原市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第15号	大田原市男女共同参画を推進する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)

議案番号	議案件名	結果
議案第16号	大田原市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第17号 (議員修正案)	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決 (賛成少数)
議案第17号	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第18号	大田原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第19号	大田原市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第20号	大田原市特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第21号	大田原市学童保育館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第22号	大田原市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第23号	大田原市ねたきり高齢者等介護手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第24号	大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第25号	大田原市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第26号	大田原市自家用有償バス設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第27号	大田原市ポッポ農園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第28号	大田原市企業誘致条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第29号	大田原市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第30号	大田原市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第31号	大田原市ふれあいの丘の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第32号	大田原市福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第33号	大田原市自家用有償バスの那須塩原市区域内運行に関する協議について	原案可決 (全会一致)
議案第34号	公の施設の区域外設置について	原案可決 (全会一致)
議案第35号	令和元年度大田原市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 (全会一致)
議案第36号	令和元年度大田原市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議案第37号	令和元年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議案第38号	令和元年度大田原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議員案第1号	新型コロナウイルス対策に関する意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

令和2年 第2回市議会定例会における表決状況一覧

議案	伊賀純	秋山幸子	鈴木隆	斎藤光浩	大塚正義	菊地英樹	新巻満雄	前田則隆	深澤正夫	櫻井潤一郎	星雅人	滝田一郎	大豆生田春美	中川雅之	高瀬重嗣	菊池久光	君島孝明	前野良三	引地達雄	高崎和夫	小林正勝
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第6号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議員案(修正案)	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	-	×	×	×
議案第17号	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	-	○	○	○
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第22号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第23号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第35号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第36号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第37号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第38号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議員案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※前野良三議長は採決に原則加わりません

代表質問・一般質問 市政を問う

代表質問とは

3月定例会において、次年度の予算や市長の施政方針について、同一案件や同一事業の一般質問の重複をさけるため、会派を結成する議員の中から、会派を代表して質問することです。

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	政友会 高崎 和夫	①令和2年度予算編成について ②黒羽高校への支援について ③農業行政について ④八溝山周辺地域定住自立圏構想について ⑤デマンド交通について ⑥移住・定住について ⑦台風19号災害復旧復興について	7	鈴木 隆	①魅力あるまちづくりなどについて ②新学習指導要領への対応などについて ③保育の充実などについて
		8	大塚 正義	①「防災安全の日」について ②おおたわら国造りプラン(大田原市総合計画)後期基本計画の策定について ③市道整備について	
2	政友自民 クラブ 君島 孝明	①いちご一会とちぎ国体について ②大田原マラソンについて ③広域合併について ④教育行政について ⑤再生可能エネルギーについて ⑥河川について ⑦大田原ツーリズムについて	9	前田 則隆	①大田原市地域防災計画について ②美原公園水泳プール跡地利用について
		10	秋山 幸子	①日本語指導を必要とする外国人児童・生徒への対応について ②本市で実施されている小・中学校給食費無料化の成果と見通しについて ③大田原市企業誘致条例について ④教育再生首長会議負担金について	
3	公明自民 クラブ 大豆生田 春美	①英語教育について ②選挙投票日の投票終了時刻について ③高齢者の安全運転支援について ④障害者スポーツ振興について	11	星 雅人	①子ども・子育て支援について ②学校教育について ③学校と家庭以外の子ども・若者の居場所について
		12			伊賀 純
4	大田原 創生会 滝田 一郎	①令和2年度大田原市予算編成及び総務省地方財政対策等の各種指標の参酌について ②台風19号を教訓とした防災について ③第7期あんしんプラン最終年度の高齢者施策について ④子育て環境日本一を目指す子ども・子育て支援事業について ⑤新規工業団地整備について ⑥いちご一会とちぎ国体に向けた諸対策について ⑦文化財の新規指定及び観光資源化について ⑧中核市構想について	13	深澤 正夫	①道路行政について ②文化財の活用について
		5	斎藤 光浩	①幼児教育・保育無償化について ②災害について ③聴覚障害者について	
6	新巻 満雄	①敬老会事業費補助金について ②黒羽刑務所跡地利用について ③空き家対策について ④大田原市土地改良事業について	14	中川 雅之	①健幸のまち、健康長寿日本一を目指したまちづくりについて ②本市の空き施設・空き学校活用の取り組みについて ③いちご一会とちぎ国体及び全国障害者スポーツ大会に向けた、施設整備計画について ④「おおたわら令和の名木選」について

※太字が掲載されている項目

黒羽高校の 支援について

代表質問



政友会
高崎 和夫 議員

台風19号の 災害復旧復興に ついて

質問…特例校の支援について伺います。

答弁…黒羽高校は、地元への定着率も高く、商工業や農業の後継者となる生徒が多く、大田原市を担う人材を多く輩出する学校であり、地域になくてはならない学校であると認識しております。本年度は地域と一体となった学校づくりを進めるため、学校運営協議会が設置され、藤

原副市長が委員として参加しており、地元企業への就職希望者に対しては、協議会を通じて支援要請等があれば、適宜対応してまいりたいと思います。

質問…黒磯駅から黒羽高校へのバス運行支援について伺います。
答弁…黒羽高校が令和2年度より特例校になるため、生徒数を維持、確保したいとの理由で、市営バスを黒磯駅から黒羽高校

までの運行要望を受け、通学を目的とした朝夕各一便を運行することと致しました。路線名は黒磯駅黒羽高校線とし、運行経路は黒磯駅東口から鍋掛、寒井、堀之内を通り終点黒羽高校とする経路で、運行開始時期は令和2年4月を予定しています。

質問…日中往復、もう一便考えられないか伺います。
答弁…朝夕走らせ状況を見ます。

質問…黒羽観光やなの今後の見通しについて伺います。

答弁…昨年10月の台風19号で甚大な被害を受け、役員会を急遽開催し、取りあえず、現状の場所で復興するという方針が決まり、今年5月1日開場できる目安ができました。私も10年市長職をさせて戴き、この間水害等で3回やなが流されているという経験から、長期的に見て、

大田原の観光事業としても一番大きな事業の一つでもあり、今後場所の良い所を選定し、しっかりとした観光やなの施設をつくり、多くの方々に黒羽の地、大田原の地に足を運んで戴くメツカにしていこう。また、東日本大震災で被災した山村開発センターが手つかずで、その折、地域の活性化ビジョンなるものを創り、その周辺一帯のところ

で、地方創生、活性化のデザインの中に観光やなも一つ入れる。また山村開発センター、城址公園等の一体化の中で、黒羽のまちを中心とした再整備を進めていく。こうした形であれば、国の補助金等の導入も考えられます。災害で大きなダメージを受け、根本的にこの地域を見直した中で、今後、この地域の活性化を長期ビジョンで考えていきます。

広域合併について

代表質問



政友自民クラブ
君島 孝明 議員

教育行政について

質問… 県北に中核市が必要と思うが、本市の考えを伺います。

答弁… 地方における財政再建のポイントも、基礎自治体が広域化する中で無駄な投資をせず、資源を価値あるものに変えることとであり、地域住民の生活の向上や幸福感の向上を目的とし、スケールメリットを生かした行政経営ができるか十分に検証してまいります。

質問… 今後の進め方について伺います。

答弁… 那須地区の合併につきましては、行財政改革を進めながら住民サービスを継続する上で必要なものと考えておりますが、合併を進めるためには各方面のご協力やご理解が必要でありますので、機運が醸成するよう努力してまいります。

となるものが何かあるのか伺います。

答弁… 広域の連携の機運が盛り上がってきたことは事実であります。地域性という課題があるのも事実であります。強い思いと、明るい未来を作っていくという情熱を持っていくことが我々の使命だということを伝えていくことが大切であります。

質問… ICT教育について今後の進め方について伺います。

答弁… 文部科学省の方針に基づき令和2年度から4か年で一人一台端末の整備に向けて検討を始めております。

質問… 来年度のICT支援員が何人になるのか伺います。

答弁… ICT支援につきましても30%削減をしておりますので、支援員につきましても一度見直しを

しをするように考えております。

質問… 令和2年度学習支援の先生は、どのくらい減るのか伺います。

答弁… 157名の支援員がいましたが、今回は93名に削減をいたしました。各学校の実情を把握し、適切な配置と効果的な運用を実施し、教育効果の維持向上に努めてまいります。

お子様から全額頂いて、第2子目以降から無料にすれば教育環境も良くなると思うが伺います。
答弁… 精一杯頑張つて来年も2割で止めたい。場合によっては、再来年には1割の負担で止めたという気持ちがあります。

質問… 給食費について第1子の

英語教育について

代表質問



公明自民クラブ
大豆生田 春美 議員

選挙投票日の投票終了時刻について

質問…英語検定3級の検定料の助成を行っていますが、助成開始前後の受検率、合格率を伺います。

答弁…英語検定助成事業は、今年度で3年目になります。受検率は、平成29年度は12・2%、平成30年度は14・1%、令和元年度は15・3%と増加しています。また中学校3年生の英語検定3級以上の取得率は、助成開

始前は10%台で推移してしま

したが、助成開始した平成29年度は31・1%、平成30年度は30・5%、今年度は33・8%と大幅に向上しました。今後とも英語検定の助成を活用しながら、生徒の更なる英語力向上に向けて取り組んでいきます。

質問…3級の合格率で高い中学校はどれくらいレベルなのか、また市全体ではどれくらいなの

か伺います。

答弁…学校名は申し上げられませんが、令和元年度は63・8%です。それから本市の3級取得者、英語科の教員が3級程度の能力を有しているということも含めると市全体では61・6%です。ちなみに国は50%は確保しなさいと言われていきますので、自信を持っていいのかなという気がします。

質問…投票日の投票終了時刻の繰り上げができないか伺います。

答弁…近隣の那珂川町や那須烏山市において投票日当日の投票終了時刻を一齐に繰り上げたこともあり、市内においても各方面から投票終了時刻の繰り上げを要望する声が聞かれるようになりました。昨年の市政懇談会においても、投票時間が長いから投票立会人を受けてくれる方

を探すことが困難になっているとのご意見を頂きました。今年に入り、1月14日付で区長連絡協議会から投票時間の短縮を求め

る要望書が出されたこともあり、栃木県選挙管理委員会と協議をするなど検討を進めてまいりました。3月2日に開催しました市選挙管理委員会において、投票日当日の投票所閉鎖時刻を2時間繰り上げ、午後6時まで

とする方針が決定され、本年11月に執行が見込まれる栃木県知事選挙から実施することになりました。

質問…投票終了時刻の繰り上げの周知徹底はどうされますか。
答弁…4月発行の広報、市ホームページへの掲載など周知を図っていきます。また選挙が近づきましたら、各地区の回覧板による周知を予定しています。

台風19号を教訓 とした防災に ついて

代表質問

大田原創生会

滝田 一郎 議員



新規工業団地整 備について

質問…防災情報伝達システムについて伺います。

答弁…市の防災、防犯、生活情報、省庁からの緊急地震速報、総務省、消防庁の国民保護情報等が配信され、市内で発生した火災のサイレン吹鳴も可能です。

整備費用につきましては、今年度の調査、設計業務委託に440万円、令和2年度の工事請負費に4億4000万円を予算計上しております。令和3年2月から試験放送を開始し、4月か

ら運用開始を予定しております。

質問…百村川等の調整池整備及び一級河川等の堤防強化と浚渫を県に要請すべきではないか伺います。

答弁…調整池の整備につきましては、現在鹿島川の整備を実施しており、百村川の調整池につきましては鹿島川の進捗状況を踏まえ、検討していくとのこと。今後一級河川の堤防を強化し、浚渫事業につきましては、優先順位を見極めながら計画的

に実施していくとのことでした。これらを踏まえ、市といたしましては今後とも一級河川の機能が維持、強化されるよう、県に対しより積極的に要望活動を行ってまいりたいと考えております。

※浚渫(しゅんせつ)は、港湾・河川・運河などの底面をさらって土砂等を取り去る土木工事のこと

質問…南関東の工業団地の完売が相次ぐなど、企業立地の波が北関東に押し寄せているそうです。中中原南部、練貫、佐久山地区等への工業団地を整備できないか、伺います。

答弁…適切な地域配置や事業見直しに基づき、今後県とも協議を図りながら検討してまいりたいと考えております。

質問…佐久山地区には記念樹の

森構想の農振除外地域が数十ヘクタールありますが県の改善指導等がないのか伺います。

答弁…協議をしていますが目的外使用は今の段階ではできておりませんので、よろしく願いいたします。

質問…調査費を計上して進めていかなかったら、将来が見えないのではないかと伺います。

答弁…座して見ているわけにも

まいりませんので、様々な角度から県の開発公社、都市計画センターにも過日訪問をいたしておきます。今後新たな企業誘致の材料として必要なものと思っておりますので、動き始めたところを申し上げます。ただ、今のところ目ぼしいところがここだというターゲットにはなっていないのでご理解をいただければと思います。

聴覚障害者について



齋藤 光浩 議員

質問..身体障害者手帳のない聴覚障害者の助成について伺います。

答弁..身体障害者手帳の交付を受けていない聴覚障害者に対する本市の助成制度は18歳未満の児童の成長期における言語能力の健全な発達やコミュニケーション力の向上を図るため、補聴器の購入や修理について対象としたものであります。次いで

高齢者を対象とした制度となっており、18歳以上の若年層を対象としたものは非常に少数の自治体であると認識しております。また、視力が落ちている方、いわゆる身体障害者手帳に該当しない視覚障害者への矯正用の眼鏡は、要保護児童を除き自己負担で購入している状況もございます。これらを勘案して

みますと、ある程度の収入がある方、あるいは、関係省庁及び栃木県との連携を図りながら、地元の活性化につながるよう活用を要望してまいります。

る障害を抱えた方の自己負担はやむを得ないものと判断しております。

以上のことから、現時点では助成制度導入の考えはございませんが、今後障害者総合福祉法の3年ごとの見直し等で制度の谷間にある方々への支援が拡充された場合には、導入が可能か判断してまいります。

一般質問



新巻 満雄 議員

黒羽刑務所跡地
利用について

質問..施設撤去に対する市の関わり方及び騒音、及び工事車両の渋滞に関する市の考え方について伺います。

答弁..廃止に向けた情報交換を行うため、市と黒羽刑務所の担当者間で意見交換の場を設けることとしており、騒音や渋滞に関してもその打合せにおいて協議を行ってまいります。当然ながら地元住民の皆様への説明会

を開くなど情報提供を行う必要もあるかと考えておりますので、黒羽刑務所との意見交換の場において協議を行ってまいります。

質問..黒羽刑務所跡地利用について伺います。

答弁..現在のところ、具体的な計画は定まっておりますが、情報交換の中で、地元の皆様方のご意見をいただきながら協議をしてまいりたいとも考えてお

ります。市としては、関係省庁及び栃木県との連携を図りながら、地元の活性化につながるよう活用を要望してまいります。

新学習指導要領への
対応などについて



鈴木 隆 議員

質問…プログラミング教育への準備状況などについて伺います。

答弁…今年度の本市における指定研究校事業の一つとして、プログラミング教育を対象とし、大田原小学校と若草中学校にて研究を進めてまいりました。来年度も指定校授業を行うことを予定しており、市内全校において遅滞なく実施できるよう引き続き努めてまいります。

質問…学力の向上について伺います。

答弁…今年度の本市の全国学力・学習状況調査等結果につきましては、小学校6年国語は全国より8・2%、中学校3年数学は6・2%上回り、5年前に比べ大きく伸びております。各校での授業改善や工夫がよい結果につながったと考えられます。

幼稚園、小学校などの連携に係るこれまでの成果と今後の取り組みなどについて伺います。

答弁…相互の職員による保育、授業参観や幼児の学校訪問等を実施しております。今後も園及び小学校職員の相互理解を深めるとともに幼児と児童の交流事業や丁寧な引継ぎを実施することで、教育の質の向上に努めていきたいと考えています。

一般質問



大塚 正義 議員

市道整備について

質問…南金丸及び川西地区の基期的道路整備計画について伺います。

答弁…南金丸及び川西地区の基幹道路である国道294号及び国道461号は幅員が狭く一部歩道も整備されていない状況もあるため、道路管理者である栃木県大田原土木事務所に国道294号バイパス整備を要望しているところですが、バイパス整備計

画につきましては、栃木県大田原土木事務所に確認をしたところ、今後交通状況や整備の優先順位を勘案しながら検討していくとのことですが、現在は、渋滞の著しい国道461号南金丸交

差点の改良工事を進めている所です。市として引き続き県に対して要望活動を行ってまいりたいと考えています。

質問…市道南金丸松木沢線及び

中田原大輪線の歩道を含めた改修工事について伺います。

答弁…市道南金丸松木沢線及び中田原大輪線につきましては、今年度から交付事業を導入しており、現在舗装の損傷度について詳細な調査を行っており、交付金の交付状況にもよりませんが調査結果に基づき工法等を決定し順次舗装修繕工事を進める予定です。

美原公園水泳プール
跡地利用について



前田 則隆 議員

質問…美原公園水泳プール廃止に伴う施設撤去のスケジュールについて伺います。

答弁…明確な整備計画等はございませんが、安全面や野鳥のふん害を考慮に水を抜き適正な管理に努めてまいります。

質問…跡地利用について伺います。

答弁…美原公園は、百村川河川改修に伴い遊歩道が整備され日

中は散策やウォーキングができる憩いの場となっております。

公園内には栃木県立県北体育館のほか全天候型の陸上競技や外周ジョギングコース、相撲場夜間照明完備の野球場やテニスコートがあり、本市スポーツの中心的な役割を担っております。また美原公園では季節を通して多くのスポーツ大会が開催されており、施設利用者からは、駐

車場の増設のほか、近隣住民の皆様からは、幼児が安全に遊べる遊具を備えた公園の整備等の要望をこれまでもいただいております。

こうしたご意見や市内の体育施設の状況などを総合的に勘案し、最も有効な跡地利用を検討してまいりたいと思っております。

一般質問



秋山 幸子 議員

本市で実施されている
小・中学校給食無料化の
成果と見通しについて

質問…本市で、2012年度から始まった小・中学校給食無料化の現在までの成果と今後の見通しについて伺います。

答弁…成果については、保護者に対して令和元年12月から令和2年1月にかけてアンケートを実施し、給食費として支払うことのないお金の使い道の質問に対する回答の結果から、子育てに関する保護者の経済的な負担

軽減に大きく寄与していると考えられます。また、無料化の趣旨を伝える通知文を保護者宛に年に一回配布して、納税の大切さと協働による社会づくりを理解し、感謝する心の醸成が図られたと考えています。

また、今後の見通しについては、来年度は給食費の一部をこ負担いただくこととなりますが、令和3年度以降についても、財

政健全化に向けた行財政改革を実行し、給食サービス事業を継続できるよう努めていきます。

質問…「学校給食無料化という大田原市の特徴的な大きな目玉をなくしてはいけない」との声が沢山届いています。どう思われるでしょうか。

答弁…やはり給食費の無料化が実現できる行財政の体制をつくりたい。

学校教育について



星 雅人 議員

一般質問



伊賀 純 議員

新年度市政の
取り組みについて

質問…中学校部活動について①

中学校の部活動の全員加入について伺います。②入りたい部活動が中学校にない生徒への対応を伺います。③放課後に部活動以外の活動に取り組んでおり、部活動加入を希望しない生徒への対応を伺います。

答弁…①の中学校部活動の全員加入及び②の入りたい部活動が中学校にない生徒への対応につ

いては、市の現状として、全ての中学校において全員が部活動

に加入することになっています。就学予定の中学校に加入したい部活動がない場合には、通学指定校変更手続を行い、運動部、プラスバンドに限り、当該部活動のある市内中学校に進学することが可能となっています。金銭面で負担の大きい部活動に関しては、家庭環境を考慮した上

で、可能な限り学校にある活動

用具の貸出しを行っている部活動もあります。次に、③の放課後に部活動以外の活動に取り組んでおり、部活動加入を希望しない生徒への対応は、スポーツクラブ等に参加し、放課後や土日の活動に参加できない生徒に対して、生徒本人や保護者と各部の顧問が話し合いながら、個別の対応を取っています。

質問…中期財政計画や行革大綱

も定め、しっかり計画が作られているが、市政執行のどこが今日の財政危機を招いたのか伺う。

答弁…新庁舎や各小中学校改築、クリーンセンターや最終処分場の事業をやらなければいざれ次に大きな負担が掛かってきます。

質問…結果的に財政状況が余り良くないなら健全化に向け独立

した包括的財政再建計画を策定

し今後の財政節度や事業の整理統合、優先順位の見直し等をまとめるべきと思うが認識を伺う。

答弁…計画経済の提言は肝に銘じ今後政策の中で検討してまいりたい。

質問…経済的背景等の教育格差は最大限排除すべく給食費無料化は意義ある貴い取り組みだが、自らの公約だから聖域として、

財政の厳しさを予見しながら、

決断の先送りにより、市民サービスへのしわ寄せに繋がったのではないか認識を伺う。

答弁…給食費無料化は、2億を超える金額だから財政逼迫の要因かもしれないが、それだけではなく大企業誘致の補助金もこれに匹敵する金額になった。財政が厳しいので、20%負担してくださいとお願いした。

文化財行政について



深澤 正夫 議員

質問…那須国造碑と侍塚古墳群の保存と観光活用について伺います。

答弁…それぞれの歴史的な価値を高め活用の幅を広げていくために今年度から古代の道路や集落の所在確認のため発掘調査を行っています。地元では「松守会」が侍塚古墳のこも巻き等の活動を続け、また「那須国古代ロマンプロジェクト」として古

墳周辺の環境整備等の保存活動に向けた取り組みも承知しており、市民の主體的な保存活動を支援して参りたいと考えております。今後、侍塚古墳群の発掘調査や更なる研究の成果を調査報告書として古代の姿をより鮮明に描き出して、文化財が有する重要性を再認識し、重要な観光資源としても積極的な情報発信を考えております。昨年4月

に改正文化財保護法が施行され、文化財の保存活用に取り組みが求められ、得られた成果を更に地域活性化に活かしながら取り組んでいくためには、市民の皆様と行政が協働体制を組み、那須国造碑と侍塚古墳、徳川光圀公等の深い自治体との連携する関係性も築き、更に国や県の支援協力をうまく取り組みながら推進して参ります。

一般質問



中川 雅之 議員

本市の空き施設、空き学校の活用、取り組みについて

質問…本市の空き施設、空き学校活用の取り組み状況と今後について伺います。

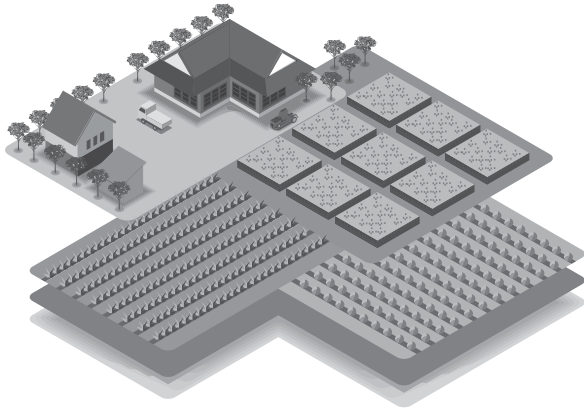
答弁…廃校については現在9校あります。この内8校については事務室や福祉事業所等に活用されており、全く活用されていない廃校は1校であります。昨年度廃校になりました旧佐久山中学校については、一般社団法人が放課後等デイサービスの事

業所として、現在開所に向けた準備を進めているところであります。また今年度福原小学校が閉校となりますが、学校内の整理を行ってから具体的な利活用の検討を進めてまいりたいと思っております。これら学校の利活用については、大半が地元

の事業者さんが利活用していただいており、大変うれしいことと思っております。旧川西中学

校は、障害者の方の作業所として、また旧蜂巣小学校はヒカリノカフェで利用されており、地元

の事業者の方々が地元で必要とされているものを一生懸命努力しながら活用していただき、その成果が上がっている所でもあります。残りの空き校舎等についても、地元の方々が何とか活用できないものも含め、有効活用を図ってまいりたい。



令和2年第1回市議会臨時会が2月4日(火)に開催されました。臨時会での主な案件は、市長の専決処分事項の承認2件、農地及び農業用施設の災害応急工事計画並びに一般会計補正予算(第7号)の議案2件でありました。

令和2年第1回 市議会臨時会

令和2年第1回大田原市議会臨時会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
議案第1号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(農地及び農業用施設の災害応急工事計画について)	承認
議案第2号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(令和元年度大田原市一般会計補正予算(第6号))	承認
議案第3号	農地及び農業用施設の災害応急工事計画について	原案可決 (全会一致)
議案第4号	令和元年度大田原市一般会計補正予算(第7号)	原案可決 (全会一致)

「市民5分間演説」を してみませんか

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができ「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様の参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

(演説申込について)

演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書(様式第1号)を提出してください。なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する
請願 (陳情)

紹介議員名
(陳情は不要)



《内容》

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者
住所
氏名
大田原市議会議長あて



緊急質問

3月2日の本会議初日に、政友会代表の高崎和夫議員が新型コロナウイルスに関する緊急質問をおこないました。以下一問一答

高崎議員：本市においての、新型コロナウイルス対策の現状と今後についてを伺います。

市長：3月2日現在のところ県内での感染は広がっていないと考えております。本市においては、新型コロナウイルス感染症対策本部第1回で感染症対策における市の対策の確認、感染症予防へのチラシの配布、市庁舎、市内公共施設及び市内小中学校への消毒液の設置を決定。第2回では、3月2日以降小中学校の運営について、通常の春休み3月24日までは午前中授業とすることといたしますが、県北健康福祉センター管内において発症者が出た場合には、一斉に休校の措置を講ずることになります。3月中の市主催イベント等の実施につきましては、原則中止または延期とすることが決定いたしました。

高崎議員：本市が半日授業ということ、そして給食を食べて帰るといった経過について伺います。

市長：内閣総理大臣からの通知の詳細を調べてみますと、それに全て強制的に従わなくてよろしいという内容も含まれておりました。関係部署と相談し、多くの市民の皆様にも動揺を引き起こさせない、また子どもの安全安心をしっかりと守っていく。そして、学校の授業の中において、世界で今起きているこの感染症についてしっかりと防疫の教育等行っていきながら、学校そのものが安全安心な施設として、子どもたちを保護していく、そのようなことを最終的には決定いたしました。

高崎議員：学童保育全体での受入れがなされない部分に対しての不安感というものに関しては、どのような対応を進めているのか伺います。

市長：学童でも学校の教室を緊急的に広げて使用して密度を薄くするそういった対策をとるようになっております。本来の学童施設は密度が濃いので、感染の危険性が高まってまいります。これは教育長ともよく相談しながら、学校の教室を使わせるということも考慮に入れて検討していかなければならないと思っております。



新型コロナウイルス対策に関する意見書

中国武漢市で発生した新型コロナウイルスによる感染症は、世界各地に拡大し、多くの感染者・死者が発生し、国際的な脅威となっている。

国内においては、各地で感染経路を特定できない症例やクラスター（集団）の発生等、全く事態の収束が見えず、新たな感染が確認されるたびに、国民の不安は増大する一方である。

地方公共団体においては、感染拡大の防止や高まる不安等への対応とともに、今後の感染者の増加に備えた体制の整備が求められている。

国においては、何よりも人命を守ることを最優先に、感染症対策の強化等を図るため、下記の事項について措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 国内の感染拡大の防止に努め、感染者への徹底した追跡調査を行うこと。
- 2 マスクや消毒液の十分な確保に向け、取り組みを進めること。
- 3 相談窓口の周知徹底を図るとともに、相談体制、検査実施、及び感染症指定医療機関の診察体制等に万全を期すこと。
- 4 児童・生徒の居場所体制の整備と保護者への経済的支援を講じること。
- 5 有効ワクチンの開発・製造を早急に進めるとともに、治療法を速やかに確立すること。
- 6 感染症や濃厚接触者等の情報公開について、風評被害防止や人権保護にも配慮した統一的な対応方針を提示すること。
- 7 地方において影響を受ける企業等全ての働く人々たちへの支援を講じること。
- 8 地方自治体が実施する新型コロナウイルス感染症対策への財政支援を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月18日

栃木県大田原市議会議員

前野 良



提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、法務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣

議員案第1号

新型コロナウイルス対策に関する意見書の提出について

新型コロナウイルス対策に関する意見書を別紙のとおり提出する。

令和2年3月18日提出

提出者	大田原市議会議員	君島孝明
賛成者	大田原市議会議員	高崎和夫
	同	滝田一郎
	同	大豆生田春美
	同	高瀬重嗣
	同	引地達雄

協議会及び委員会の内容

1月~3月

全員協議会

◆1月15日
(報告事項)

- 1 令和2(2020)年度大田原市行政組織の改編について
- 2 大田原市業務継続計画(大規模災害編)の改訂について
- 3 消防団協力事業所表示制度について
- 4 令和元年度大田原市一般会計補正予算第6号について
- 5 令和元年度大田原市教育委員会点検評価報告書(平成30年度実施事業)について
- 6 那須地区消防組合議会臨時会報告について
- 7 小中学校卒業式における議長祝辞の割り振りについて
- 8 今後の予算・決算審査特別委員会正副委員長について

(協議事項)

- 1 各種委員会・実行委員会等充て職委員の選出について

◆2月14日
(報告事項)

- 1 令和元年度事務事業庁内検証会議の結果について
- 2 大田原市単独補助金等の交付に関する例規の一部改正及び廃止について
- 3 令和2年度大田原市当初予算(案)の概要について
- 4 大田原市会計報告書について
- 5 ゆづかみ保育園の民営化について
- 6 大田原市営バスの新規路線等について
- 7 「大田原令和の名木選」について

◆3月18日(臨時)
(協議事項)

- 1 新型コロナウイルスに関する意見書の提出について
- 2 総務常任委員会からの修正議案について

◆3月18日
(報告事項)

- 1 第2期大田原市未来創造戦略の策定について
- 2 大田原市有財産活用民間提案制度の実施について
- 3 第3次大田原市地域ICT総合推進計画の策定について
- 4 「平成30年度統一的な基準による財務書類」について
- 5 大田原市立地適正化計画の策定について
- 6 投票日当日の投票所における閉鎖時刻の繰上げについて
- 7 那須地区広域行政事務組合議会定例会報告について
- 8 那須地区消防組合議会定例会報告について

総務常任委員会

- ◆3月13日
- 1 付託議案の審査

民生文教常任委員会

- ◆3月13日
- 1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

- ◆3月13日
- 1 付託議案の審査

議会運営委員会

- ◆1月15日
- 1 令和2年3月定例会日程(案)について
 - 2 今後の予算・決算審査特別委員会正副委員長について

◆1月18日

- 1 令和2年第1回市議会臨時会の運営について

◆2月21日

- 1 令和2年第2回市議会定例会の運営について

◆3月18日

- 1 議員案について

予算審査特別委員会

- ◆3月4日
- 1 委員長及び副委員長の互選について
 - 2 分科会の設置について
 - 3 会議日程について

◆3月13日

- 1 各分科会(第1、第2、第3分科会)

◆3月18日

- 1 全体会

広報広聴委員会

- ◆1月14日
- 1 議会だより2月号について

◆3月6日

- 1 議会報告会について

◆3月23日

- 1 議会だより5月号について

議 会 日 誌

1月



- 14日○広報広聴委員会
- 15日○会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議員研修会
- 16日○芳賀北部広域行政推進協議会行政視察対応
- 28日○議会運営委員会
- 31日○山形県中山町総務文教常任委員会、厚生産業常任委員会行政視察対応

2月



- 4日○議会臨時会
- 14日○全員協議会
- 15日○県北5市議長会議
- 19日○那須地区消防組合定例議会
- 21日○会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 26日○那須地区広域行政事務組合議会定例会

3月



- 2日○令和2年第2回市議会定例会招集
(本会議)
- 4日○本会議(代表質問)
- 予算審査特別委員会
- 5日○本会議(代表・一般質問)
- 6日○本会議(一般質問)
- 広報広聴委員会
- 9日○本会議(一般質問)
- 13日○総務常任委員会
- 民生文教常任委員会
- 建設産業常任委員会
- 予算審査特別委員会各分科会
- 16日○予算審査特別委員会全体会
- 18日○議会運営委員会
- 全員協議会(臨時)
- 本会議(議決)
- 全員協議会
- 23日○広報広聴委員会

令和2年6月 定例会開催の お知らせ 会期(予定)

6月8日(月) ～ 6月17日(水)

※一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

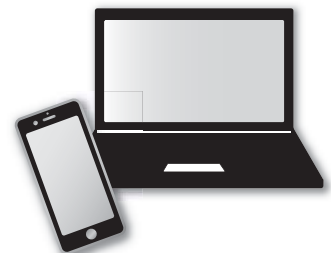


市議会HPは
こちらから

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法…ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。

- 大田原市ホームページ: <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>
- お問い合わせ先 大田原市議会事務局 ☎23-8714





〈国際医療福祉大学〉
村上 由真 さん

今回初めて傍聴させて頂いた議会は、私が高校生の際に全校生徒で行った生徒総会に質問方式や答弁の仕方が似ていると感じた一方で、議会は全市民の代表である議員で構成され、運営方針や仕組みが複数あることなど、今回をきっかけに調べてみて分かったことも多くありました。議会で挙げられていた時代や市民の生活背景に合わせた様々な視点からの解決策は、これからの大田原市を支え、より良く変えていくのだと思いました。そのためこの議会こそが未来の大

田原市を作る取り組みの第一歩であるのだと実感した時間でした。



〈国際医療福祉大学〉
清水 智也 さん

私は、体験実習の際に初めて議会定例会を傍聴させて頂きました。大田原市の学校に通っていないながらも議会の傍聴は今回が初めてでした。実際に傍聴してみると質問の一つ一つが生活に密着しているのもっと詳しく聞きたいと思うような内容ばかりでした。市民の代表として、市民の声を聞き、大田原市全体の発展のために取り組んでいるのが伝わってきました。私も、一市民としてこれから大田原市の取り組みに貢献していきたいと思っています。



〈国際医療福祉大学〉
大木 涼世 さん

私は、体験実習で大田原市の福祉事務所にお世話になりました。その体験実習の際に、初めて議会を傍聴させて頂きました。私は、大学で医療・福祉について学習している。そのため、質問事項のなかの福祉について関心を持った。医療・福祉分野の議題でも、市の財政状況、周辺市町村との連携、費用対効果などさまざまな分野の知識が求められていると感じ、市の執行部、議員の方々の苦労を拝見することができた。これらの大田原市のために活躍する方々のお陰で、私たちは、快適に生活ができるのだと改めて感じた。また、私たち市民には、市長や議員の方々を選任する選挙権を有している。大田原市の現状、課題、今後の進む道を知るために必要な場であり、私たちは活用すべきであると改めて痛感した。同時に、私たちにも大田原市のために出来ることは何かと考えさせられる場となった。最後に議会傍聴を通して、大田原市のために、多くの人が様々な面から携わっていることを知りました。今後も市長及び執行部の方々、議員の皆様の活躍を期待しております。



〈国際医療福祉大学〉
佐藤 隼斗 さん

私は、大田原市福祉事務所での体験学習の一環として、今回初めて、議会定例会を傍聴させて頂きました。学校教育や福祉施策等の様々な事業についての議論が交わされる様子を拝見して、議会関係者の熱意ある姿勢に感動いたしました。そして、一般質問に対する討論は、市民に寄り添った市民のための内容で、市が各事業に対し、具体的にどのような方針で事業を行っているかなど、大田原市を深く理解することが出来ました。これからの大田原市をより良くしていくためには、市職員や議員の方々だけではなく、私たち市民が、自分の住む街について知り、自分の考えを持つという自主性が不可欠になってくるのではないかと感じました。今回の貴重な経験を活かし、私も市民の一人として大田原市に貢献できるよう、自ら成長につなげていきたいと思っています。